

報道関係者各位

景気回復、別の道がある。 経済で、もっと結果を出す。

薔薇マーク キャンペーン

ついに日本でも「反緊縮左派」がスタート。記者会見・意見交換会のお知らせ

2019年4月の統一地方選挙から7月の参議院選挙の争点は、「経済」です。

日本では、職を失う不安、パワハラ、「サービス残業」、介護や育児の負担、賃下げなどで、5割を超える人が「生活が苦しい」と答えています。人口減少に歯止めはかからず、個人消費も伸び悩んでデフレからまったく脱却できていません。消費増税などもってのほかです。

いまこそ野党は、人々の生活を良くするための経済政策を最優先の課題として争点にしなければなりません。

私たちは、人々の生活を底上げするための「反緊縮の経済政策」を掲げるよう、とりわけ野党の立候補予定者に呼びかけます。そして、これに合致した経済政策を掲げた立候補予定者に、政党を問わず、認定マークである「薔薇マーク」を出し、反緊縮の経済政策を待ち望む多くの人々の投票の参考にしてもらうキャンペーンをスタートさせます。

2019年2月1日(金) 衆議院第一議員会館にて

13:30~14:30 記者会見

説明者(松尾匡・立命館大学経済学部教授、井上智洋(駒澤大学経済学部准教授)ほか)

入館証カードを会館入り口のピロティでおわたいたします。

終了後、市民との意見交換会

記者会見にはメディア以外の方も傍聴いただけます。会見では時間の都合上、質問・発言はできませんが、記者会見後には意見交換の場を設けます。ご出席の際には、会場キャパの都合上、事前にinfo@rosemark.jpまでご連絡いただければありがたいです。報道関係者の方も、意見交換会の模様についても取材し報道の参考にさせていただいて結構です。

<「反緊縮左派」は世界の潮流、日本でも必ず広がります>

アメリカ2018年の中間選挙で、「民主主義社会主義」サンダース派のオカシオコルテスさんの勝利で注目が集まりました。他にもスペインのポデモス、コービン党首のイギリス労働党、フランスのメランションさんなど、欧米各地で「反緊縮」の提唱者が台頭しています。それに連なるシンボルとして、労働者の尊厳を示す「薔薇」マーク議員を広げます。

<「経済政策マニフェスト2019」を公表、3月には第1次認定予定>

マニフェストは、松尾匡(注)ら経済学者を中心に取りまとめています。安倍政権よりももっとうまく、人々の生活を豊かにできます。第1次薔薇マーク認定は3月前半にも公表予定です。

(注) 著書に『この経済政策が民主主義を救う--安倍政権に勝てる対案』2016年1月、『そろそろ左派は(経済)を語ろう レフト3.0の政治経済学』2018年 プレイディみかこ、北田暁大共著等

<薔薇マークキャンペーン呼びかけ人>

松尾匡(代表、立命館大学経済学部教授)、プレイディみかこ(保育士)、岡本英男(東京経済大学学長)、岩下有司(中京大学経済学部名誉教授)、森永卓郎(獨協大学経済学部教授)、井上智洋(駒澤大学経済学部准教授)、西郷南海子(安保関連法に反対するママの会)ほか

SNSリンク

HP: <https://rosemark.jp> twitter 公式アカウント https://twitter.com/the_rose_mark

【このリリースに関するお問い合わせ先】 ☎090-9315-7935(西郷) ✉info@rosemark.jp

